



錦町議会だより



2022.NO

141

はつた

目次

- ・第2回定例会 2
- ・一般質問一覧 3・4
- ・一般質問 5～11
- ・誌上座談会 12・13
- ・議会の動き／トピックス 14

令和4年

第2回
定例会

追加予算 約3億4千万円を可決

- ① 全世帯への商品券配布事業
- ② 住民税非課税世帯等及び子育て世帯への臨時特別給付金
- ③ 保育所等施設整備事業費補助金を計上

令和4年第2回定例会は、6月7日から6月10日までの4日間の日程で行われ、令和3年度各会計補正予算の専決処分5件、令和4年度一般会計補正予算の専決処分1件、条例改正等2件、令和4年度各会計補正予算5件、人事案件2件、報告3件が上程され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり承認、可決した。この他、陳情3件が上程され、各常任委員会に付託した結果、いずれも継続審議となった。

令和4年度一般会計補正予算の主なものは、新型コロナウイルス感染症や物価上昇の影響を受ける地域経済活動を支援するための全世帯商品券配布事業、住民税非課税世帯等及び子育て世帯への臨時特別給付金、一武こども園の移転改築に伴う施設整備事業補助金の他、企業誘致事業費、観光情報分析によるデジタルマーケティング業務委託料など。

今回の一般質問には、7人が登壇し、執行部の考えを質した。

条例改正等

- ① 錦町税条例等の一部を改正する条例（専決処分）
地方税法等の一部改正に伴い改正するもの

- ② 熊本市町村総合事務組合規約の一部変更について

人事案件

- ① 錦町固定資産評価審査委員会委員の選任の承認について

住所 錦町大字西

2896番地1

氏名 荒川 伸一

- ② 固定資産評価員の選任について

住所 錦町大字木上東

595番地

氏名 箕田 俊哉

報告

- ① 令和3年度錦町一般会計繰越明許費繰越計算書

- ② 令和3年度錦町一般会計事故繰越し繰越計算書


- ③ 令和3年度錦町水道事業会計予算繰越計算書

令和4年 第2回定例会 表決一覧

(賛成 = ○ 反対 = ×)

議員名 議案名	早田	石松	吉田	竹田	藤川	岡田	上村	池田	右田	守永	荒川	可・否
令和4年度錦町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決

討論（令和4年度錦町一般会計予算）

<p>反対意見 (荒川孝一議員)</p>	<p>保育所等施設整備事業については、説明不足であり分からない部分が多いこと、また、保育園民営化の経緯を鑑みると町全体のバランスを崩すことに拍車をかけるようなことが懸念されるので、当事業を含んだ一般会計補正予算に反対します。</p>	 <p>一武こども園</p>
<p>賛成意見 (右田宣之議員)</p>	<p>保育所等施設整備事業については、説明が尽くされておらず突如として計上された補正であるが、6月8日の全員協議会にて町長・担当課からの説明があり、またこれまでの説明不足を陳謝されたことを受け、これを反故することは本町の汚点にもつながるうえ、今後同様の補助を申請するときには暗いイメージにも繋がりがねるので、一般会計補正予算に総合的に賛成します。</p>	

第2回定例会一般質問事項一覧①

議員名	質問事項	質問の要旨
荒川議員 (P5)	デジタル弱者への支援について	①本町の現在の支援策は。 ②高齢者及び障がい者とその家族、デジタルが苦手な方に今後のデジタル社会に対応できるように支援策が必要と思われるが。
	本町の施設バリアフリー化について	①平成18年公布バリアフリー新法（高齢者、障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律）に則り公共施設のバリアフリー化検証。 ②投票所のバリアフリー化について
	町民の声より	①令和3年夏実施の「錦まち戦争体験調査について」アンケート調査に疑問がある。
吉田議員 (P6)	町内の観光施設について	①道の駅、トイレから物産館までの雨対策について。 ②くらんど公園駐輪場増設について ③秘密基地ミュージアム前周辺農地に牛の放牧等で集客の考えは。
	食品価格上昇による影響について	①学校給食の対策は。 ②給食費の値上げは無いか。
	住民、子供たちの事故防止と防災について	①町道錦中央線から（町道佐土原十日市線）知敷原までの拡幅の考えは。（再質問） ②国道219号沿いのパチンコ店跡地に大型商店が計画されている。交通渋滞が心配される町道の渋滞、事故防止対策について。 ③河川横の竹の伐採について（JA下球磨第一選果場周辺）ほか町内全域。 ④田んぼダム、町としての支援は。

第2回定例会一般質問事項一覧②

議員名	質問事項	質問の要旨
早田議員 (P 7)	新電力との電力供給契約について	①新電力との契約は。 ②電力の契約方法について。 ③今後も新電力との契約もあり得るのか。
	人口減少時代、いかに歳入確保するのかについて	①本町の徴税率について。 ②今後の税収入の見通しは。 ③歳入総額に対する税外収入の割合。 ④税外収入の中心となるのは。 ⑤ふるさと納税の自動販売機設置を検討しては。
藤川議員 (P 8)	「新型コロナウイルス禍」から町民を守る取り組みについて	①今までの取り組みの経過と今後の対処方針は。 ②感染者の人権に対する配慮と啓発は。 ③「コロナ対応臨時交付金」の用途は。
	「阿武町誤送金事件」の教訓について	①「事務ミス」に対するチェック体制は万全か。見直すべき点はないか。
	町長の政治姿勢について	①町長の任期（4期目）は残り1年を切った。マニフェスト（公約）の進捗状況、今後の取り組みは。 ②過去の町長発言（答弁）への疑問点 1)「副町長人事の判断」について 2)「労使交渉（団体交渉）」について
池田議員 (P 9)	町長の政治姿勢について	①残り1年を切った町長選挙への出馬は。 ②長期政権へのこだわりは。
	副町長の人事について	①令和4年度予算に副町長の予算が計上されていることは。
	過去の質問から	①過去4回、庁舎に喫煙室の設置要望を振り返り、再度要望を。
岡田議員 (P 10)	町民の声より消防団活動の問題点について	①積載車の耐用年数は。 ②団員の免許（オートマ限定）の現状は。 ③緊急時に急行できる団員数は確保出来ているのか。
	防犯灯、防犯カメラの設置基準について	①町内には、その地域で防犯灯を設置、運営されているところがあるが、更新等は町が行うべきではないか。 ②子供や高齢者の安全確保のため、危険と思われる場所にカメラの設置を。
	ごみ処理事業について	①旧西農協にあるリサイクルステーションの利用状況は。 ②リサイクル事業に対する町の考えは。 ③ごみ出し作業がままならない高齢者が増えている。対応策は。
石松議員 (P 11)	選挙の投票率低下の対策について	①錦町の現状を踏まえ、委員長としての認識は。 ②子供達（将来の有権者）の意識の醸成の取り組みは。 ③郵便等での不在者投票の現状と高齢者の配慮は。 ④指定施設の要件と錦町における投票施設は。 ⑤移動投票所の設置の考えは。
	子育て支援について	①子ども食堂と居場所づくりに対する町の考えは。 ②子ども笑顔あふれる居場所づくりプロジェクトについて ③町民の取り組みを支援する官民一体となった組織作りは。 ④町民の取り組みを支援する受け皿となる窓口の設置は。 ⑤母子手帳アプリ「母子モ」の導入は。 ⑥小中学校女子トイレへの生理用品の設置について

※要旨…質問についての詳しい質問

一般質問

町政のここが聞きたい

7人が登壇
(要約掲載)

デジタル弱者の支援策を

荒川 国のデジタル社会化施策を受け、本町も今年度予算に新たな事業に取り組んでいるが、町民へのデジタル社会に向けて、どう利便性、福祉性を方向づけるかが目的の中になければいけないと思っている。本町のデジタル弱者への支援策は。

住民福祉課 対応していない。



荒川 孝一 議員

荒川 高齢者のインターネット利用も増えている。本町のインターネット利用料、月額4千730円は年金暮らしの方からすると高いのではないか。

企画観光課 管内の市町村と本町の使用料は同額であり、民間業者との比較でも安くなっており、しばらくはこの料金設定で運営していきたい。

荒川 デジタルデバイス（情報格差）をなくすためにも、入り口というか、利便性、利用する方が気軽に使えるように今後検討してもらいたい。

福祉分野のデジタル活用

荒川 ゲームを使つての介護予防、手先を動かす、頭を使うという形の予防策もある。また、病院と自治体連携でオンライン診療診療に取り組んでいる例もある。本町も取り組んでは。

保険政策課 有効ということであれば、当然考えていきたい。

荒川 福祉分野だけでなくネット利用でのトラブル対策等デジタル分野での対応する担当を設置してみても。

町長 国もデジタル庁を設置したものの現実としてまだ機能していない。だが、準備はしていく必要があると思つている。今の提言についてはしっかりと検討していきたい。

荒川 議会のほうでもタブレット導入を進行している。使える、使えないではなく、職員議員、行政に係るもの、使いこなさなければいけない時代が来ている。

バリアフリーの意味・意義を

荒川 14年前、バリアフリー新法に基づき、町の施設の不適合箇所を指

摘したが、改善されていない箇所が数ヶ所ある。

町長 バリアフリー化はしてきたつもりだが、建物の構造上、どうしてもできない所もある。

荒川 選挙投票所、錦町は8ヶ所のうち4ヶ所、報道によると半分が段差がある。

総務課 投票所に配置された職員に支援が必要な方には積極的にサポートするよう心がけている。

荒川 バリアフリーとは何ぞやと、もう一度職員に理解してほしい。人が人を思う、おもしろい一つの形だ。



誰にでも優しい町を

観光施設（道の駅）について



吉田 眞二 議員

圏内に対応が可能だが、新型コロナウイルスウィルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用も視野に検討する必要があると考える。

吉田 給食費の値上げはないか。

教育振興課 今現在は考えていない。また、町民応援、農家支援として地元産食材をできる限り利用するように既に契約している納入業者と協議も行っている。

吉田 町内で収穫された農産物の使用を増やして子供たちに安心・安全な農産物の提供をお願いしたい。

安全な地域のために

吉田 町道佐土原十日市線拡幅は。

地域整備課 知敷原農地へのアクセス道路として近年大型化が顕著である。一般車両の交通量等も含め拡幅が必要か見極める必要があるが、今のところ計画はない。今後の交通量の状況を見ながら検討したい。

吉田 パチンコ店跡地に大型商店が計画されている。町道の渋滞、事故防止対策は。

地域整備課 町として、迂回路線、松里線については通学路の危険箇所、交通安全対策として、カラーラインを含む外側線及びカラー舗装を予定している。



田畑に覆いかぶさる竹！！

吉田 町内全域河川敷の竹の伐採で下球磨第一選果場周辺の対応は。

地域整備課 旧野間川で管理は町、令和4年度で8河川の河道掘削を予定、併せて竹の伐採等も実施予定である。

吉田 くらんど公園に駐輪場の新設は出来ないか。

企画観光課 駐輪場の新設も県に要望している。既存の休憩所前にラインのみで整備予定。

吉田 雨が降り出した時、暑さ対策の為に日除けの設置を県への要望をお願いしたい。

給食は安心・安全か

吉田 食品価格の上昇による影響と、品物の値上がりが見られる学校給食の対策は。

教育振興課 食材の提供にも影響を及ぼす状況、厳しい運営を迫られるが給食センター栄養士の努力により栄養とカロリーを考慮した食材の選定がなされている。現在は予算の範

吉田 トイレを利用した後、物産館に来館される方が雨に濡れる。対策は。

企画観光課 防災トイレの新築工事に併せて直売所利用者の利便性向上を目的に既存の建物に追加する形で今回の施工に至ったことからトイレから直売所までの点字ブロック上に屋根がない状態になっている。直売所や公園に来場される方々が快適に利用できるよう、環境整備に取り組んで行きたい。

新電力との電力供給契約は 電力は重要なインフラの一部

価格より安定供給が重要では

早田 新電力との契約のメリットがなくなってきた。新電力との契約が現在もあるのか。

給の面からも懸念されることから、九州電力に切り替えている。

早田 厳しい経営状況の新電力と、今後も契約があり得るのか。

総務課 平成29年度から、高圧施設を皮切りに低圧施設についても新電力事業者と契約を進めた。電力供給について特に問題もなく、電気料金もかなり安価に抑える事ができ、町にとっても有益な取組であったと考えている。ただ、今年度より新電力の価格の優位性がなくなり、安定供給の面から懸念されること

総務課 一時期は、価格面で優位性があり経費削減にも効果があったが、公共施設については、安定供給が最も重要と考えているので、新電力事業者へ変更する事は考えていない。

**人口減少時代、いかに歳入確保
するのか。加速する生産人口の
減少と税収減**

早田 本町の微税率の状況は。

税務課 全体的な推移としては、99%プラス・マイナス0.5%程度を維持している状況。

早田 高い微税率で、職員の意識の高さを再認識した。微税対策係が単独になる今後の効果は。

税務課 納税者への納付交渉、口座振替の推奨、さらに滞納者に対しては、様々な調査、滞納処分等を実施して財源確保に努めていきたい。

早田 今後の税収の見通しについては。

税務課 高齢化社会が進むことによる町民税個人分の調定額は減少傾向になる。固定資産税については、住宅の建築が増えているが、償却資産では、町内企業等で新たな設備投資等がなければ減少傾向になると考えられる。

**今後は税外収入を増やしていく
のも重要。ふるさと納税自動販
売機導入を提案**

早田 着実に収入を得ていく工夫もしないとイケない。そこで提案がある。ふるさと納税自動販売機を導入しては。

企画観光課 事業者が経営戦略の一

つとして位置づけ、自動販売機設置により収益の増加を見込むなど、将来ビジョンを持たれ、導入する意向があれば、町としても費用対効果を勘案し支援策を検討したい。また、企画観光課では、旅先でのふるさと納税プラットフォームの導入も検討しており、地域を応援したい方々に応える体制作りに取り組んでいる。

町長 人口減少、高齢化が進む中で、歳出そのものは変わらない。収入の分をどう図っていくかということだろうと思う。



ふるさと納税自動販売機導入なる？ならない？
(※写真は券売機です)

〈コロナ禍から2年〉 町民を守る取り組み・対応は十分か。



藤川 喜一 議員

ている。今後も国の指針に速やかに
対応し円滑に行くよう努める。

藤川 感染者に対する差別、誹謗
中傷など人権問題が出てこないか心
配。感染者に対する配慮と啓発は。

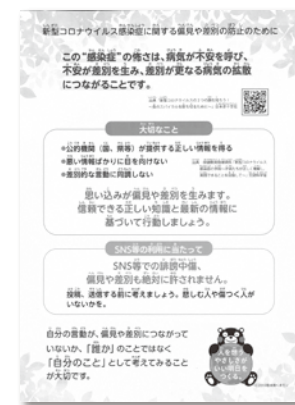
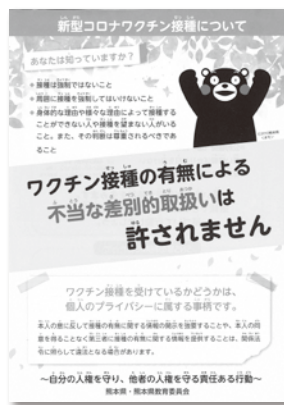
藤川 新型コロナウイルス感染症が
初確認されてから2年3ヶ月。町内
でもクライスターが発生するなど今
だに収束の兆しが見えない。「コロ
ナ禍」から町民を守る為、今後の対
応のため一定の総括が必要。今後の
取組みの経過と今後の対応方針は。

健康増進課 令和3年2月から接種
体制を整え5月から優先順位に従い
一・二回目を開始。三回目の追加接
種を12月から始め令和4年5月で終
了。現在四回目に向けて事業を進め

健康増進課 接種会場でチラシや
リーフレットを配布してコロナ差別
をなくす啓発を行っている。町の
ホームページでは熊本県の感染リス
クレベルの周知や町内感染者数も掲
載し、その中で不適切な扱い、イヤ
ガラセSNS等での誹謗中傷をしな
いよう呼びかけておりコロナ感染症
に関する偏見や差別の防止に取り組
んでいる。

藤川 子ども感染も増えている。学
校関係で差別やイジメなどの人権問
題は起きていないか。

教育長 学校関係でコロナ感染に伴
ういじめの事案の発生はない。と先
月の校長会議で確認している。感染
者や濃厚接触者への児童生徒間によ
るイヤガラセや不当な対応がないよ
う教職員による指導も引き続き行っ
ていく。



人権啓発の必要性

藤川 「新型コロナウイルス感染症
対応地方創生臨時交付金」という名
目で国の支援措置がある。使途はど
うなっているのか。コロナ禍によっ
て町民の生活は厳しい、町民を守る

視点で経済的救済措置として商品券
の交付など積極的に使うべきではな
いか。

企画観光課 本町への交付限度額は
令和2年度4億8000万円、令和
3年度2億3600万円。感染拡大
を防止すると共に感染症拡大の影響
を受けている地域経済や住民生活を
支援する為、国の臨時の支援措置と
して創設されている。

〈町長の政治姿勢を問う〉 5期目の挑戦はあるか。

藤川 町長4期目の任期は残り10ヶ
月。マニフェスト(公約)の進捗
状況、残期間の取り組みは。5期目
の挑戦の意欲はあるか。

町長 33項目中29項目を達成した。
5本柱(福祉健康づくり・少子育
て・働く場の確保・教育の振興・行
財政改革)を中心に残期間懸命に取
り組む。そのことだけを現在考えて
いる。

町長の政治姿勢について

池田 6月に入り、残り1年を切った、次期町長選挙への出馬の考えはないか。

町長 残された期間を住民サービスの上向上に徹底して頑張る。

池田 出馬の考えは、最終的に本人の心一つだと思うが、9月の定例会の席で答えるのか。

町長 時期が、どういう形になるかわからないが、時期が来れば適正に判断しながら、ご相談していきたい。



池田 秀晴 議員

長期政権へのこだわりについて

池田 前町長との選挙戦で長期政権はあつてはならないということを出馬されたが、3期の町政終了前に後援会の意向や町民の声があるので、4期の町政に出馬され当選された。今回も同じ声があるからということになるのか。

町長 4期の中で、四回戦つてきた。1期、1期を終わってきたということと、長期であろうと、短期であろうという考えはない。1期、1期を一生懸命頑張る。

副町長の人事について

池田 4年度の予算に副町長の人件費が計上されている。副町長を置かれるか。4年度の予算一千万円近く上がっている。

町長 本年度も副町長の予算を上程しており、色んな方を頭に入れながらやっている。

過去の質問から

池田 過去4回、庁舎に喫煙室の設置要望を振り返り、再度要望をお願いしたい。町長は現在の屋上や車庫のそばの喫煙室を確認されたことがあるのか。

町長 確認している。

池田 屋上は、なんと自分の吸い殻を自分で持ち帰る。木上小学校は、免が飼われている倉庫の片隅、一武小学校は、2階のベランダで雨をしのぎながら喫煙されていた。職員も同じだと思う。たばこ税が今年1億円程度入ってくるということで、10分の1でも費やしていただければ、職員も喜ぶし、町民も森本町長であつてよかつたと思う。

町長 健康増進法が改正され、受動喫煙防止の観点から原則的には、敷

地内では吸わないということになっているので、ご理解頂きたい。

池田 人吉海軍航空基地資料館の施設の件に関しては、予算がすぐ上がりますが、たばこの喫煙室については、何回質問しても苦しい。たばこ税1億円で2ヶ所も3ヶ所もできると思う。

町長 質問議員の要望は十分分かりました。ありがとうございました。



健康増進法（受動喫煙防止）の改正の弊害により、リニューアルできない掃除道具小屋？

町民の声より、 消防団活動の問題点について



岡田 武志 議員

も、導入から、30年以上経過している。更新の時期もいづれ来る。オートマ車の導入など、時代や、地域性を考慮した消防団活動を行って頂きたい。

岡田 積載車の耐用年数は何年か、又、団員の免許（オートマ限定）の現状は。

総務課 積載車は、軽トラを改造したものであり、走行距離が10万キロ、使用年数が10年と一般的には言われているが、定期的メンテナンスを行い走行点検も行っており長期間の運用が可能であると考えている。又、限定免許の団員は現在、5名である。

岡田 いかにか大事に使用するためにして



導入から30年

岡田 防犯灯、防犯カメラの設置基準について。

総務課 防犯灯の設置については、地区からの要望に基づき、必要と判断した場合は町で設置し、修繕や更新は、町で行い、電気代は原則として地区で負担して頂いている。

岡田 町民の方から、こう言う意見をお聞した。私の住む班はもともと分譲住宅であり、開発業者により防犯灯が設置してあり、毎月、管理費として、各戸、千円を納め、自分たちで管理運営を行っている。電気代の負担はわかるが、修繕や更新は町の方で出来ないのかという要望であった。

町長 担当課とその集落長さんと、しっかりと話をしながら、相談に来て頂ければ、対応は十分に出来るのではないかと思っている。

岡田 町内には、危険箇所があり、町民を事故や事件から守るために、防犯カメラの設置の要望がある。人口が減少する中、事故や事件の目撃情報も減っている。防犯カメラは、その目を補うものであり、子供達の

見守りにもなる。又、犯罪や事故の抑止効果もあると考える。

町長 時代が変わっていく中で、対応が間に合っていない所がある。しっかりと検討させて頂く。

町のゴミ処理事業について

岡田 リサイクルステーション利用状況について。

住民福祉課 旧西農協敷地内にあるリサイクルステーションは、リサイクル回収日に出せない住民や民間賃貸住宅にお住いの町内居住者のために設置された施設であり、開設から11年経過している。

岡田 町民からは大変重宝されている施設であるが、いろいろ問題も生じている。ゴミ出しにも困っておられる高齢者も増えている。弱者を救う有償ボランティア制度など検討すべき課題は山積みであり急務である。

小中学校の女子トイレに 生理用品の設置を



石松 まゆ子 議員

石松 小学校中学年から中学生の時期は思春期と呼ばれ、生理についてとても関心があると共に、不安や悩みを抱えている。学校でも家庭等と連携して様々な問題に寄り添ってケアをしていただいている。女子児童生徒達が安心して学校生活が送られるように、女子トイレに生理用品の設置を提案するが取り組み考えは。

教育振興課 導入に向けて検討され

ている県もある。熊本県でも県立学校において実証事業の取り組みが始まった。錦町においては保健室に常備し、配布できる状況。色々な意見を参考にしながら検討していく。

教育長 保健室に常備することは、

子供達の体の悩み・成長・発達の状況を把握する意味では大切。しかし、心理面を考慮し、トイレに設置することも一つの考えである。ほかの自治体の例を参考にしながら検討していく。

町長 ほかの自治体の中では、議会の中で予算化されている。本町においても課題もあると思うので、しっかりと検討しながら対応する。

子ども食堂と居場所づくりに ついて

石松 少子高齢化が加速する中、子供達のおかれている環境も課題が複雑化している。共働きの家庭が増えている中、子ども食堂や地域の居場所づくりが全国各地で行われている。錦町としての考えは。

企画観光課 企業版ふるさと納税の

受け入れを開始。寄付金を財源とした居場所づくりプロジェクトを秘密基地ミュージアムで開催。これから企業への支援を求めながら関係各課と連携を図って進める。

石松 居場所づくりは地域の大人と

子供の関係を築く場であり、コミュニケーションづくりである。できれば高齢者も参加できる場所で、官民一体となって取り組めるような組織作りをと考えるが、町長の見解は。

町長 国がすすめることも庁設置の中で、子ども支援センターをどのよ

うな組織づくりをするか、課題・問題点を出しながら、検討している。官民一体となって継続的な子供達の支援につなげるよう対応する。

選挙の投票率低下の対策は

石松 各種選挙における投票率の低下がみられる。高齢者への配慮と若い人の投票率アップのため、移動投票所の設置の考えは。

総務課 移動投票所の設置はできるが、まずは期日前投票等の制度の周知を進める。



あなたの一票で未来が変わる

誌上座談会

人吉球磨はひとつ
復旧と展望



(左から) 右田・岡田・吉田人吉球磨広域行政組合議員・竹田人吉下球磨消防議員

—人吉下球磨消防組合(※)、人吉球磨広域行政組合(※)各議会に出向され3年、この間、令和2年7月豪雨で所管施設の被害もあり、厳しい局面を経験されたようですが、まずは、感想をお聞きたい—

竹田議員 消防団経験もあり、ある程度内容は解っていたが、予算面など驚く面もあった。その中で豪雨被害、消防署本部、車両数台が水に浸かり、現在も県内外から寄付をしていただいた車両を使って、厳しい運営状況で先が大変だなと感じている。

右田議員 所管の汚泥再生処理センターが水没した。

岡田議員 復旧に20億円要した。

吉田議員 緊急で民間企業の協力を得て復旧は終わり、すでに運営再開はしている。



汚泥センターの水没

※人吉球磨広域行政組合
10市町村で構成
議員総員数は30人
錦町からは3人出向

※人吉下球磨消防組合
人吉市・錦町・球磨村・相良村・
五木村・山江村で構成
議員総員数8人
錦町からは1人出向

—それぞれ審議する予算が大きいですよね—

吉田議員 昨年、所管施設も予算規模も大きく、ゴミ処理（クリーンプラザ）など人吉球磨住民の生活にかかわっている。

岡田議員 昨年、福寿荘（特別養護老人ホーム）の委託問題も終わり、又、クリーンプラザ老朽化による大規模改修等、多くの問題もかかえている。

竹田議員 経費節減の一つとして、上球磨消防組合と指令センターの一元化が令和6年から計画されている。システムの10年更新など色々条件が揃って期待している。

—人吉下球磨と上球磨消防組合の合併、課題もあるが—

竹田議員 上球磨消防組合議員との合同会議などでも議論しており、要

望も出ているので合併の話は、進むのではないかと思っている。

—人吉球磨広域行政組合としての重要課題は—

右田議員 錦町だけでなく人吉球磨全体のゴミ搬入量が増えている。それにメンテナンスなど費用も増えている。

岡田議員 2年間で改修費用が10億円掛かると見込まれている。

吉田議員 他には組合議員の議員定数も議論が始まっている。

右田議員 現在総勢30名の議員、各市町村議会の定員数から見ているか？なものかという流れで議論検討している。

“人吉球磨はひとつ”という合言葉をよく聞く。その中で実務として出向されている各議員、特に2年目で災害もあり、対応等苦労されたと思

います。あらためて“人吉球磨はひとつ”を現場で感じられたのではとインタビューして思いました。

インタビューアール荒川



中央消防署と消防車輛の水没

議会のうごき

4月

- 1日・全員協議会
- 8日・広報特別委員会
- 14日・定例郡議長会議
- 15日・広報特別委員会
- 19日・例月出納検査(～20日)
- 22日・広報特別委員会
・議会運営委員会



5月

- 2日・全員協議会
- 12日・定例郡議長会議
- 16日・例月出納検査(～17日)
- 19日・熊本県町村議会議長会臨時総会
・議長研修会
- 23日・人吉下球磨消防組合議会臨時会
- 25日・錦まち観光協会総会
- 30日・錦町防災会議
・人吉球磨広域行政組合議会臨時会
・全国町村議会議長・副議長
研修会(～31日)
- 31日・議会運営委員会
・全員協議会

6月

- 7日・令和4年第2回定例会
(～10日)
- 16日・例月出納検査(～17日)
- 21日・決算審査(水道事業)
(～22日)
- 23日・定例郡議長会議



議会・議員の存在感を 全国町村正副議長研修

5月30日東京国際フォーラムにて町村議会正副議長研修会が開催されました。研修項目は①町村議会のあるべき姿②町村議会議員報酬について③地方議会とハラスメントに3項目1時間ずつ3名の大学教授が講演をされました。現在、全国的に議員(特に地方議員)のなり手不足が問題となっており、なり手不足は、選挙の有無だけの問題ではなく、住民自治にとって大きな問題を生み出す。議員選挙の無投票当選の広がり、議決の正当性、議会の存在意義に関わることであり、議会力もアップしない。また、女性議員不足の現状と女性議員が受けるハラスメント状況が分析報告されました。議会において



のパワハラ、セクハラ防止策として条例制定が必要であり、無意識の偏見の気づきの大切さなどが内容でした。
(文責 荒川)

スピード感を持って治水対策を!! 県関係国会議員への要望

5月31日東京、ホテルグランドアーク半蔵門にて熊本県内議会正副議長による県関係国会議員(13名)への要望と意見交換会が開催されました。



球磨郡議長会からは①「球磨川における抜本的な治水対策の促進について」として、被災した球磨川及びその支川の護岸や堤防の早期復旧と五木村へのより充実した支援策、相良村においても川辺川の流域保全対策及び安心安全な住民の暮らしを支援するよう国へ働きかけてもらうよう要望しました。

②「球磨地域幹線道路網の整備促進について」地域振興の妨げとなっている車両の通行不能区間を有する県道も多く存在している。また、今後発生が予想される大型地震、自然災害に備えて国道219号線の道路としての役割も大きい。早急な整備をとし、錦町は西井出口等の渋滞写真を資料として添付しました。
(文責 荒川)

【広報特別委員会】
委員長 荒川 孝一
副委員長 竹田農利人

委員 池田 秀晴
石松まゆ子
吉田 眞二
議長 金山 民幸